

大分大学大学院福祉健康科学研究科 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー:AP)

基本理念

現在、我が国では、様々な社会情勢の変化に伴い、必要となる支援が多様化・複雑化している。そこで、このような急速な変化に対応するために、医療、福祉、心理といった個別の分野の専門性の拡充及びこれらを結節した福祉健康科学の深化を進め、「地域共生社会」の実現を担う高度な実践力と研究力を有する人材の育成を行う。

教育・研究の目標

①健康医科学コース

医療、福祉、心理をより総合的に俯瞰するための科学的な基礎を備え、医科学や理学療法学等の自らの専門性を論理的に立証し、健康医科学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができる臨床・行政のリーダーや教育者、研究者を養成する。

②福祉社会科学コース

医療、福祉、心理をより総合的に俯瞰するための科学的な基礎を備え、福祉社会の構築に向けた制度・政策の立案、また相談支援や臨床福祉における実践活動の専門性を論理的に立証し、福祉社会科学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができるリーダーや、専門的な教育研究に従事する人材を養成する。

③臨床心理学コース

医療、福祉、心理をより総合的に俯瞰するための科学的な基礎を備え、心の健康や心理学的支援に関する高度な専門性を有し、心理学の視点から「地域共生社会」の構築を牽引することができる心理専門職を養成する。

求める学生像

①健康医科学コース

健康医科学（理学療法学や生命科学等）に関する基礎知識を有し、健康医科学に関する臨床実践・行政・研究を牽引するとともに、「地域共生社会」の実現に携わりたい人。

②福祉社会科学コース

福祉社会科学に関する基礎知識を有し、福祉社会科学に関する実践・行政・研究を牽引するとともに、「地域共生社会」の実現に携わりたい人。

③臨床心理学コース

心理学に関する基礎知識及び臨床心理学的な支援に関する資質を有し、心理専門職として、心理支援の実践や研究を牽引するとともに、「地域共生社会」の実現に携わりたい人。

入学者選抜の基本方針

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、医療、福祉、心理いずれかの基本的知識を持つとともに、「地域共生社会」の理念に立って福祉健康科学における自らの専門分野の意義を多角的な視点で学ぼうとする意欲を持つ人を求める。

これに加え、社会人のリカレント教育としては、社会経験にもとづく明確な問題意識を持つと同時に、自らの専門性をさらに高めようとする意欲を持つ人を求める（健康医科学コース及び福祉社会科学コース）。

※「地域共生社会」とは

本学が定義する「地域共生社会」とは、「種々な問題・困りを抱える人を含めたすべての人が、その問題・困りの性質や年齢・世代にかかわらず、その必要性に応じて医療・福祉・心理を中心とした学融合的なアプローチに基づく専門的な支援などを活用しながら、その人格や主体性など自他の権利を尊重しつつ、地域社会の中で互いにつながり、多様な存在価値を認めあうコミュニティをつくり出していく社会」のことをいう。

各選抜試験で重視する観点

コース	入 試 区 分		求める学生像			
			① 健康医科学（理学療法学や生命科学等）に関する基礎知識を有する人	② 健康医科学に関する臨床実践・行政・研究を牽引したい人	③ 「地域共生社会」の実現に携わりたい人	
健康医科学	一般選抜	筆記試験	英語	◎		
			小論文	○	○	○
		口述試験	個人面接		◎	◎
	社会人選抜	書類選考		○	○	
		筆記試験	小論文	○	○	○
		口述試験	面接		◎	◎

コース	入 試 区 分			求める学生像		
				①福祉社会科学に関する基礎知識を有する人	② 福祉社会科学に関する実践・行政・研究を牽引したい人	③ 「地域共生社会」の実現に携わりたい人
福祉社会科学	一般選抜	筆記試験	英語	◎		
			専門科目	◎		
			小論文	○	○	○
		口述試験	個人面接		◎	◎
	社会人選抜	書類選考		○	○	
		筆記試験	専門科目	◎	○	
			小論文	○	○	○
		口述試験	個人面接		◎	◎
	(事業所推薦)社会人選抜	書類選考		○	○	○
		筆記試験	小論文	○	○	○
		口述試験	個人面接		◎	◎

コース	入 試 区 分			求める学生像		
				① 心理学に関する基礎知識を有する人	② 心理専門職として、心理支援の実践や研究を牽引したい人	③ 「地域共生社会」の実現に携わりたい人
臨床心理学	一般選抜	筆記試験	英語	◎		
			臨床心理学	◎	○	
			基礎心理学	◎	○	
		口述試験	個人面接		◎	◎

◎は、特に重視する